

北海道外国人観光客来訪促進計画の変更理由

平成26年度の外国人来道者数が154万人となり、北海道観光のくにつくり条例に基づき策定される「北海道観光のくにつくり行動計画」や「北海道外国人観光客来訪促進計画」において目標指標として掲げていた「平成29年度120万人以上」を達成し、「北海道外国人観光客来訪促進計画」の新たな目標設定が必要となったことから今回変更するもの。

I 計画の基本的な考え方

- 外客旅行容易化法第4条に基づく計画
- 北海道観光のくにつくり行動計画の趣旨を踏まえた、国際観光に関する計画
- 計画期間：平成25年度から平成29年度までの5年間

II 国際観光の現状と課題

現状

- 【世界的動向】
- 国際観光市場は増加傾向にあり、特にアジア太平洋のシェアが拡大
- 【日本の動向】
- アジア等の経済成長や円安などを背景に今後も訪日外国人旅行者数の増加を見込む
- 【北海道の動向】
- 台湾、中国、韓国、タイ、香港の5地域で外国人来道者の約8割を占める



課題

- FIT（個人旅行者）の多様なニーズへの的確な対応やリピーターの確保・拡大
- 外国人来道者が道内を安心して快適に旅行することができる受入体制の整備
- 外国人来道者の季節的な偏在の平準化や地域的な偏在の解消
- 特定の国・地域に偏らない来道外国人観光客の増加

III 計画の目標

外国人観光客が安心して快適に観光を楽しむことができる、国際的な質の高い観光地づくりを進め、海外から多くの方に何度でも訪れていただける観光地・北海道を実現する

【目標指標】（平成29年度）

- 【来道外国人観光客の拡大】
- 外国人の来道者数(実人数) 120万人以上→240万人以上
(平成32年度 300万人以上)
 - 訪日外国人客数における来道外国人客数のシェア 10%→10%以上
 - 全国の延べ宿泊者数における北海道のシェア 10%
- 【来道外国人観光客の旅行満足度の向上】
- 北海道に「また必ず来たい」と思う旅行者の割合 60%
 - 「とても満足した」と思う観光客の割合 50%
- 【来道外国人観光客の誘致による経済効果の向上】
- 外国人来道者の道内観光消費額（1人あたり） 15万5千円

【目標の設定の考え方】

- シェア目標
国内観光地との競争力の強化（東京・京都主体から北海道観光へ）
- 旅行満足度
従来の目標と合わせ、リピーター獲得の指標化
- 観光消費額
外国人観光客が地域に及ぼす経済効果の更なる向上と「見える化」

IV 国際観光の振興方策

戦略的な宣伝誘致活動の推進

- 対象国・地域の市場ニーズに応じた戦略的な宣伝誘致活動の推進
 - ・ 国・地域別の取組方向を策定するなど、きめの細かい観光プロモーションを展開
 - ・ 新市場など誘致対象国・地域の多様化を推進
- 特定分野にターゲットを定めたプロモーションの推進
 - ・ 地域資源の活用など北海道観光に対する観光客の多様なニーズに対応した観光商品の開発とプロモーションの展開
- 広域観光周遊ルート形成の促進
- 国際航空路線等の誘致促進

国際競争力を有する質の高い観光地づくり

- 国際競争力の高い魅力ある観光地の形成
- 地域独自の魅力を生かした旅行商品開発の促進
- 外国人観光客が安心して快適に観光できる環境づくり
- 情報案内機能の充実 など

観光に関する基礎的データの収集及び調査の実施

- 外国人観光客誘致のための市場の実態などの把握
- 外国人観光客の動態や関連産業の実態などの把握
- 外国人観光客の満足度や観光消費の実態等の把握

V 計画の推進

- 国、市町村、北海道観光振興機構、観光関係団体、道が連携したオール北海道体制での国際観光の推進
- 外国人来道者数300万人達成に向けたプロジェクトチームの設置
- 誘致対象国・地域の地方政府、関係機関との連携など計画推進ネットワークを拡大